磐城日日
發行所
磐城日日新聞社
福島縣石城郡小名浜町宿廻五一
電話代表三六七番 二一九番
振替仙台31,355番
編集兼發行人 長瀬芳郎

小名浜港頭の偉観
保安部廳舍落成
施設も完備守りは万全

豫て小名浜港務所の一角に工事中の小名浜海上保安部廳舍並びに無線通信所は此程竣工を見たので其落成祝賀会が本十三日午後一時より同新築廳舍にて擧行される

小名浜海上保安部は昭和二十三年八月保安廳開設直後第二管區本部の隷下に小名浜町に設置され、以来約三年間漁業會所有建物を仮廳舍としていたが其の間巡視船「うずら」港内艇「きぎく」の配屬があり二十五年八月には同署は保安部に昇格し、それと共に陸海上勤務職員も三十六名に增員し又近かく業者待望の二七〇屯新造大型巡視船「もがみ」=乘組員三十三名=が配屬される予定であり且警備救難業務に專用される無線通信所も開設、愈其機構が擴充整備され且つ新廳舍建築予算が國会を通過したので小名濱港務所の一角を敷地に選定し小原工務所が請負い今般竣工に至つたものである、本廳舍の建築は本部直轄の工事として施工されたもので木造平屋建建坪七十五坪で南西に面し正面玄關より入いり右側に部長室司令室、事務室、左側に無線室、動力電池室、通信士控室宿直室、其他取調室炊事場浴場等も完備して居り採光通風ともに申分なく遠山部長のモツトーであるサービス官廳としての風格を如實に顯現した樣な明かるい氣持のよい瀟酒たる建物である

無線通信施設は東京都日本無線電話工業株式會社無線部が資材を納入整備したもので一二〇W電信送振機は三千哩の實用通信が可能で野島沖から鹽釜間の漁船との救助通信等主として保安業務の專用に供される四十W十球無線電話機は三メガサイクル帶で鹽釜本部との固定通信、三メガサイクル帶で所屬船艇との連絡通信、一般漁船の救助通信用に當てられる又受信機としては五十キロサイクルより二十メガサイクルをカバーする八球スパーオールウエーブのものが二台整備され其他非常用として蓄電池、電動機等を準備し完璧を期している、なお通信の觸角となるアンテナは高さ二十米の鐵柱が二基建造されY型一本、逆L型一本斜傾型二本のアンテナ線が張られ海上の出來事を速やかにキヤツチする事となつている、新廳舍にての業務はテスト、許可申請等の關保上若干おくれる見込であるが本月末頃には業務開始となる模樣である

西澤本部長來町
管内視察後祝賀に參列

小名浜海上保安部廳舍落成祝賀会參列並びに管内視察のため第二管區本部長西澤貞德氏同池田總務部長、警救課第一係長等一行は一昨十一日午后五時來町、昨十二日には江名港を視察した なお同部長は明十四日歸廳の筈

信號塔の竣工式擧行

小名濱測所では來る十六日午前十時より小名浜漁業協同組合階上に於て過般設置をみた氣象信號塔の竣工式を擧行する

磐崎で苗代の品評會

磐崎村青年会では七日午前十時より全村苗代品評会を行つた、出品は三十数点に及び審査の結果入賞者は次の通り決定した
一等 鈴木一二、吉田篤雄、二等 鈴木猛、木田封一、坂本英雄、三等 鈴木茂平、六平元次、井出忠太郎、川瀬力造

土地買收打合會
予定面内で交渉成立か

小名浜工場誘致委員会では製鹽工場設置が大体軌道に乘るもをとの見透しの下に、十二日午前十時から町会議室で第一回土地買收に關する交渉打合せ会を行つた、すなわち役場側より水野町長、長瀨助役、工場誘致委員側小野委員長以下全員出席工場敷地の地主側から高橋友吉氏ほか保安林原野の地主代表千名が參集、賣買單價その他に就いて協議、略々当初の予定どおり四百萬円の枠内で交渉成立の見透しがつくものと見られている

青い羽根の募金
水難救濟會縣下に運動

白、赤、緑に相次いで今度は日本水難救済會主催にて來る七月一日より同二十三日まで全國一齊に青い羽根募金運動が展開される事となつた、經濟安定と民生向上は我國目下の急務であり其實現のためには狹少な國土と資源に乏しい我國では海を利用し、海に依存する事が絶体必要である、斯る際我國にては海難事故が非常に多く年間三百五十億に上る莫大な損害を受けている現狀にあり、六十有余年の歷史を持つ同会は全國に四百ケ所の救難所を設備して十四万余の人命を救助しているが更にとの事業を整備强化する資金に充當するため本運動が實施されるものである、本運動に基き、福島縣支部=小名浜漁業協組內=では縣下に對する割当額七千本=七萬円=を消化するため近かく具体的な協議を実施するが、小名、江名、原釜、請戸、久ノ浜、四倉、の各地區の協力により完遂を期する外水產高校生により街頭募金を行うため同校に交渉中である

錦町會開く
原案を可決

錦町議會は十一日午前十時より役場会議室にて全議員出席の上開催、磐城共立病院組合議員に議長近藤松太郎氏、都市計畫地方委員議長近藤初太郎副議長藤原重正の兩氏、固定資産評價委員に町長高木武一郎氏を選任した次いで議案錦町稅條例改正の件外提出議案は原案通り決定午後四時終了した

後れている炭礦
ガイ・ウッドラフ氏は語る

去月下旬、アメリカのシカゴ市にあるグツトマン製作会社の販賣員ガイ・ウツドラフ氏が常磐炭礦湯本五坑を見学しアメリカの炭礦と日本炭礦の狀況について次のように語つた

「私がオハイオ州の炭礦で働いたのは今から三十五年前であつたが、日本の現在の坑內狀況はその頃とよくにている、それだけ日本の炭礦はおくれている坑内勞務者が多い割に実採炭夫は少いように思われる、然し日本の炭礦勞務者は實によく働いている

湯本青年會
五浦にハイク

湯本町東區青年会では來る十七日(公休日)に勿來五浦方面にハイキングを行う

住吉選炭場
近く着工

かねて懸案中であつた住吉選炭場がこの程工事着工の運びとなつたが、新選炭場は機械室間口四十米、奥行六米、六坑選炭場と同じく五十トンバーマ水洗機五台が予定されており、洗炭方法も水洗一本にする計画で選炭能力は月三萬トンから六萬トンに倍加され石炭の品位も百カロリーに向上するといわれている

五月中の舶船貨物
▷小名浜海運局發表◁

東北海運局小名濱支局發表による五月中の小名浜商港出入船並びに取扱貨物數量は次の通りである

一、入港船舶 汽船九隻五六二八屯、帆船ナシ

一、取扱貨物数量 總數四一二五五屯、積荷七三五屯、鐵鑛石五五屯、スクラツプ一八〇屯、揚荷三三九〇屯、鹽五一〇屯、コークス二五七五屯石炭三〇五屯

總取扱數は前月に比し減少しているが水素会社のコークスは約一千屯の增加を示めした

街の音盤

日本水素は肥料製造については全國屈指の大会社である、ところが肥料の製造過程にドジョウが何んの必要があるのか一匹?、会社で飼つているそうだ、このドジョウ野毛の山家育ちとみえて頭は白く山の高いところよりお下りになつたのか相當にお高くとまつている、ドジョウは酒で殺すといわれているがどうして死ぬどころか酒太りで色艶も至極いゝ、大会社で育てただけあつて大したものだ、酒で死なないとのドジョウ毎日酒の氣がないと生きていられないと云うドジョウ仲間の破廉恥漢だ、それも資手いらずに飲み歩くドジョウに毛が生えたらという言葉は何んの意味か知らないがチョイ〳〵聞く、足の生えたドジョウは前代見聞だ、もつとも御本尊はピン〳〵しているが飲ませた方では殺している積りか、お客にきてもらえば、それで目的は達したことになる、結果からみて!馬鹿をみるのは会社だけだと思う業者だつて商賣だ、飲ませ食わせてこその上盃暮のおつかいものまでたゞでやつては食つていけない、その費用は全部何にかの面でかけているということは常識的に考えて誰もがうなずくことであろう、ドジョウがりユーとした洋服を着用煙草を横ぐわえにした位にして自動車にふんぞりかえるその姿を眺めた田甫の仲間は、「何んでえー水から上つたらパク〳〵口を動かすのがわれ〳〵の生存するあがきであるが、頭の白いあの仲間あぐらをかいた獅子鼻を殊更らに開ろげていやがるあれじやトジョウのばけものだ!!」

祝・小名濱海上保安部 廳舍落成 通信所開設

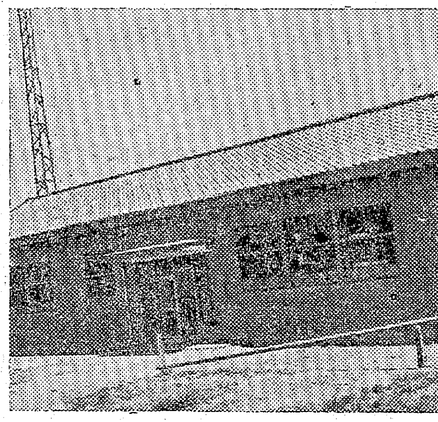
御挨拶

小名浜海上保安部長 **遠山武夫**

小名浜海上保安部は昭和二十三年八月海上保安廳発足直後第二管區本部(鹽釜)の隷下に保安署として誕生、二十四年八月には巡視船「うずら」二十五年三月には港內艇「きぎく」が配屬され、二十五年六月に保安部に昇格、爾來今日まで小名浜漁業会の厚意により現在までの仮廳舍で微力を捧げて參つた次第でありますが今般警備救難業務其他に萬全を期すため無線通信所を開設する事となり且橋本、関內兩代議士始め地元議員は元より全縣議、縣當局、水野町長並に縣內関係官民報道陣各位の御支援御協力の下に廳舍建築の運びとなり本日落成祝賀式を擧行するに至つた事に對しては誠に御同慶に堪えないと共に謹んで滿腔の謝意を表する次第であります。

本工事は諸種の事情により着工が若干遲れましたが請負人小原組及び日本電話株式會社は克く利害を超越して眞劍なる態度で急速に工事を遂行し又縣土木課長同管理課長並に小名浜港務所長の格別な御配慮に對しては茲に改めて厚く御禮申上げます

最近我國諸般の情勢より海上保安行政上の責務は極めて重且大なるものあるを痛感するとき職員一同一丸となり使命完遂に邁進し御期待に副うよう努力する覺悟であります。今後とも一層の御指導御支援の程を懇願致します。



小名浜海上保安部長 **遠山武夫**
警備救難課長 **永井小太郎**
海事検査課長 **岩田薫**
うずら船長 **相澤能生男**
きぎく船長 **塩野庄太郎**
外職員一同

海上保安協會福島縣支部
主事 **菊田敏**

濱三郡漁業者が海上保安協会縣支部の名に於いて眞摯な運動を展開した甲斐あつて小名濱海上保安部の廳舍及無線通信所新築の工なつて本日目出度落成式を擧行しる事になつたのは最新型巡視船配屬確定の報と併せ海難防止の見地より心から嬉しく思う此の機会に從來海上保安行政完遂のため遠山武夫部長殿初め職員御一同の並々ならぬ御努力に対し深厚なる敬意と感謝の意を表するものである。私共は保安協會事務職員として今後共保安部と十二分なタイアップのもと所期の目的達成のために微力を盡したい。

工事施行者
小原組
小原松之助
小名浜町須賀町 電話六番

工事施行者
日本電話工業株式会社
無線部
東京都新宿諏方町

江名町漁業協同組合

江名町漁業協同組合
中之作支部

江名町機船底曳網協同組合

福島縣鰹鮪漁業協同組合

江名町第一水難救護會

江名造船所

小名濱町役場
町長 水野政次郎
助役 長瀨國三郎
収入役 野崎昇太郎
外吏員一同

小名濱町議會
議長 長瀬彰義
副議長 馬上喜一
比佐政種 飯田宗秋
小林仁一郎 鈴木イセ
松原文吾 小野務平
高木嘉一郎 小野直千賀
木村庫 小松勇吉
箱崎滝三郎 立花秀吉
野崎貞行 木田谷平
斎藤誠吾 飯塚新四郎
金澤勉 藤社大一
西丸猛 林林平
菅原勵 長瀬啓一
飯塚務 橋本佐多讃

海上保安協会福島縣支部
日本水難救済会福島縣支部
支部長 三代義勝
主事 菊田敏

小名濱漁業協同組合
組合長 三代義勝

小名浜機船底曳網漁業協同組合
組合長 田島繁夫

福島縣旋網漁業協同組合
組合長 三代義勝

清水屋酒造元
小野義一
小名浜町 電六番

小名濱臨港鉄道株式会社
社長 竹久仁
專務 浦田文二郎

日本冷藏株式会社
小名浜工場
工場長 八島正太郎

小名浜町農業協同組合
組合長 長瀬誠明
小名濱町愛宕下

江名町第二水難救護會
江名町中之作

福島縣機船底曳網漁業協同組合連合会
会長 吉田豊吉
副会長 小松敬太郎
同 田島繁夫
専務理事 吉田健悦

小名浜埠頭株式會社
社長 鈴木英雄
電一一七一一九

小名浜港灣運送株式会社
社長 西丸猛

さんま漁の差別てつ廢で
漁民大會を開催
比佐氏外一名即日出京

本年度より實施されんとするさんま漁業取締規則要綱（案）を繞り内地關係漁業者間に猛烈な反対空氣が起りつつある衆議院水産常任委員会より五月三十日水産廳に提出された本取締案は北海道内地の二本建海區制を採用し且操業開始を一應十月一日と定めているが、北海道は知事の許可制とし八月十五日まで解禁を早め得る條項があるため實質上は内地との間に四十五日の差があり其間の經濟利害は漁業經營上重大問題であるので主務部課長漁業界代表等を通じ反対意見の申入れ陳情等を行つていたが水産廳は北海道の政治力に押され原案を法案化する氣運にあるので昨十一日午後一時平水産事務所に小名浜より業者六十名が貸切りバスで乘り着ける外縣下各地並びに茨城縣よりも業者約二百名が参集、漁民大会を開催、兩縣は同調し委員十名を選任、北海道、内地の差別的處置の撤廢と北海道漁船の特例を十屯以下とすべく水産廳に對し強硬に要望する事となり比佐委員外一名は直ちに上京した、なお問題となつたさんま漁業取締規則要綱（案）は次の通りである

一、現行規則では總屯数二十屯未滿の漁船によるさんま漁業は規則の適用除外としているが今後は漁船を使用してさんまを取る漁業總べてを規則の對象とする

二、七〇屯以上の漁船によるさんま漁業を禁止する

三、適用海域は現行通りとする

四、解禁日は原則として十月一日とするが海況漁況に應じて變更し得る

五、終漁日は原則として十二月十五日とするが資源保護上必要ある場合又は農林大臣よりあらかじめ定める數量に達した場合は其期日を繰り上げる

六、禁漁期間中は水揚を禁止する、但し輸送證明書を所持する場合はこの限りでない

七、出漁證明書制度をとる

八、水揚港を指定する

九、北海道に於ては禁漁期中左記の内容の特例處置を採る事が出來る

イ　知事の許可漁業とする

ロ　原則として二十屯未滿の船舶に限る

ハ　八月十五日よりさかのぼる事は禁止する

ニ　本措置によるさんま漁業期間については資源保護上必要ある場合又は農林大臣があらかじめ定める數量に達した場合許可の期間を繰り上げる

十、北海道を除く都府縣に於ては海況漁況に應じて二十屯未滿の漁船による操業を一月十五日まで認める事がある

石炭産業は好調
特需景氣か市況は强氣

石炭産業は從來から夏場は不振であるのが通例であるが今年は特需關係等により市況は案外と强氣であり、常備貯炭のごときは從來二百万トンといわれていたのが今年は百萬トンという有樣であり年間出炭計画も當初の四千五百萬トンに引き上げられている、電力再編成に伴う料金値上げにより各炭礦とも經費增額に頭を痛めているが常磐のごときは主要資材は値上りを示しているが出炭は例年よりも一割乃至一割五分の增炭が要求されており石炭産業は好調を示している現況でこれに對應して同礦では次のように語つている、「工事着工の運びとなつた、住吉選炭場は六坑選炭場より多額の資金を必要としておりやりくりも仲々容易ではなく年間增産には堅實な當社經營を維持するため一万人の從業員を目標にしており、住宅增加は資金の関係から固定從業員を收容することは困難であるため出來るだけ季節夫を利用したいと思う」

体育と庭球　①
鈴木友枝

何人も健康を望まない人はないと思う又スポーツを好む人は誰でも上手になることを希い願わぬ人は一人もないであろう、然しスポーツ競技によつてはその行う人の身体なり体力に適しないスポーツもあるがその点で老幼男女を問わず然かも最も競技性の面白味に富むスポーツとして庭球があることは今更筆者が述るまでもない

庭球は十九世紀の末イギリスのメイジャーウイングフイルドと云う人によつて考案されたスポーツであり、それが今日ではイギリスは勿論のこと全世界にひろまつて各國到る處にそのプレイをみることが出來る、すなわちこれは何人にも安易に樂しめることと費用の点も余り出費せずに面白しろくプレイが出來るからであり、現在では庭球ほど萬人向きのスポーツは他にないとまでいわれている、世界的行事として毎年行われるデヴイスカップ爭奪戰を始とし國際國内を問わず多くの試合が年間を通じて開催されており、最近日本でも四名の代表選手をデヴイスカップ戰にアメリカへ派遣したことは耳新しいことである。初めて庭球が日本に傳わつたのは一八七八年（七三年前）のことであり今の敎育大学當時の体操練習所にコートを作つてプレイを開始したのにはじまるといわれ、それが今日日本國中にひろまり、戰前は全國で何拾万人と云う人が庭球を愛好しプレイを樂しむようになつたのである、そのため世界的な立派な選手もたくさん輩出して居る、殊に一九二〇（三一年前）アントワープの國際オリンピック大会では熊谷選手がシングルスで第二位に熊谷、柏尾組がダブルスで同じく第二位という好成績をあげて一躍庭球日本の名を全世界に知らしめて世界の庭球界に大きな足跡を印したことは特筆さるべき一大痛快事であつた

磐崎局長はえん罪か
ヒロポン中毒など眞赤なうそ

昨報磐崎村白鳥磐崎郵便局長小湊勉（四八）氏及び局長代理兼庶務係長妻チヨ（四二）さんの夫妻を公金横領の疑いで調査していた仙台郵政監察局福島駐在庄司、橋本監審官（佐久間監察官は誤り）は、引續き職員十五名の年末手當、職員の俸給明細表等について調査しているが、職員の年末手當（本給の半月分）を一人當り二百圓ないし三百円ずつをピンハネした疑はうすらいでおり、超過勤務手當、夜勤手當等は現金では支給していなかつたが超過勤務、夜勤者の場合は夜食等にあてて支給していたものであり俸給明細書を書きかえて一人當り千円から二千円を頭ハネした事實は全くなく非常勤務職員の手当は支拂うことが出來なくなつており非常勤務職員は手當がもらわれないところから職員が外勤したようにして職員に手當を支給していたものである同夫婦がヒロポン中毒患者であるといわれていたが妻チヨさんが永い間病氣であつたため局長代理をしていたので局長が出張した後は一手にチヨさんが局内を引受ける身となり一時ヒロポンをうちつつ仂いたこともあるが四年前のこととて現在は藥など使用していない、同夫妻は局員から親しまれているが、内部の一部の者が局長をうらんでいる事實があり同局は内地でもあり、湯本、長倉局のごとき隣局は全部乙地で給料等についても乙地より内地は三十分ノ一の差があり、部内の者から横領の疑いをうけたものらしく目下調査中である

時の記念日
に時計檢診

石城郡時計業組合では昨十日の時の記念日に午前十時より平驛待合室に時計相談所を設け鐵道の乘降客及一般の人達に時計の檢定を行い簡單な修理までサービスして記念日の意義を深くした、當日相談所は班別に組織され内郷、飯野、神谷と三方部に分かれて実施され一般に喜ばれた

―しばらく低温が續く―
もうすこしがまんしなさい
―夏はこの後に來ます―

急に氣温が低下して、オーバーを質に入れた物も背廣の上着を物にかえて逸早く夏型衣裝に取りかえた者も、よく衣だけあればどうにかとの夏が過ごせると高をくくつた家庭籠城組も、蚊帳はつつたが布團をおもい俄かに寒さの襲來にこのところ大あわて、サテこの低温は何處から來たかというと本場南部の太平洋に典型的な夏型高氣壓がドクロをまいているにも拘らず、シベリヤ地區にも相當の高氣壓層があつて、こいつが赤の宣傳網に乘つて次第に東方に移動、目下オーツク海から北海道に向つて移動してどこか適當なアヂトはないかと東北地區をのぞいたからたまらない、「雪や氷や冷たい風は北のロシヤに吹けばよい」ものを日本本土が低温の犧牲になつてしまつたもので、原則的に言うと、いわゆる梅雨時の正常な季節の現われで、決して血迷う事はない一寸寒さが襲つたからといつて、矢張り本格的夏が來れば暑くなります、今暫くの御辛棒だと、科学の殿堂小名浜測候所の御托宜ですから、夢疑うことなく梅雨期低温を御甘受下さいとの氣象の神樣の言をそのまま

魚菜市況　12

【小名濱中央青果市場】だいこん三六〜五〇、さやまめ七〇〜一〇六、じやがいも四〇〜五五、きうり九六〜一一一、きやべつ、四五〜五五、たまねぎ四五〜五〇、グリンピース三〇〇

（魚市場）ます一一〇〇、ふぐ二五〇、たい六六〇、平目四七〇、すゞき五〇〇、いなだ二二〇、小いか一〇〇

天氣概況

（十三日）北東の風始めのうちは晴れていますが次第に曇り勝ちとなり再び天氣はくずれてきましよう

（海上）おだやかな方ですが明日は薄霧がかゝりましよう

祝・小名濱海上保安部　廳舍落成　通信所開設

觀音丸　齋藤誠吾
寶正院　高橋友吉
太田漁業部　太田宜一郎
ヤシマ漁業部　立花勇
香取丸　水野皓之
カネ又漁業部　小野定次
第三第五福丸　野崎美世治
海津見丸　鈴木啓之
惠比壽丸　小野義男
大高丸　高津忠治
共運丸　田澤留五郎
八崎丸　瀧内與平
眞盛丸　比佐雅英
吉田義　江名町大字中之作
吉田金司　江名町大字中之作

吉田收平
高橋源太郎　江名町中之作　電話一五八番
吉田喜好　江名町大字中之作　電話一二四番
三德漁業部　小野善助
山諏丸　白土芳松
七駒漁業部　鈴木七郎
阿野漁業部　馬上正美
丸高漁業部　高橋亘
旭日丸　庄司林太郎
源　小野源右衛門
三王丸　比佐庄太郎
力三勝漁業部　三代義勝
網吉漁業部　吉田由吉
酢屋漁業部　野崎貞行
ト漁業部　比佐政種

天洋丸　宮野靜翁
小名浜漁業協同組合電機技術指導部　冨塚義成
長瀬印刷ＫＫ　社長　長瀬芳郎　小名浜町渚廻五一　電二一九・三八七
會川電機工業所
小浜電機工業所　小浜敬太郎
長山電機商会
小名濱水産株式會社
小名濱内燃機製作所
鈴木鐵工所　鈴木義雄
漁具計量器　小林船具店　小名浜町古港　電話三七五番
塩屋船具店　小野壽夫
興洋電氣
日本船舶電機
防殺蟲研究所
丸八鐵工所　倉兼常八
関彰商店　小名濱支店

株式会社　小名濱中央青果市場　小名浜町定西　電話二八六番
福島船用品ＫＫ　社長　小野朝吉
嘉寶丸　高木嘉一郎
土木建築請負業　内村淺吉　江名町
小名濱土木株式会社　社長　坂本二郎　小名浜町上町五六　電一七〇
福惠丸　田中常太郎
天榮丸　草野增太郎
小名濱引揚業者組合
千代田重機工業Ｋ・Ｋ
金山鋼材Ｋ・Ｋ
Ｋ・Ｋ商工務店
太平洋海事Ｋ・Ｋ
江名電機商工協同組合
坂本平四郎船具店
四家電機工業所
片寄電機工業所
北村電機工業所
北村無線電機商会
杉村無線電機商会
本田無線電機商會
新丸屋無線電機商会
千代田無線電機商会
北上無線江名出張所
松崎電機工業所
タガミ無線電機商會
常磐無線電機工業所
鈴木無線電機商會
廣屋　田島熊次郎

土木建築　三崎組　太田武彦
土木建築　内田建設　内田岩雄
土木建築　野口工務所　野口繁
土木建築　常磐土建工業社　草野道人
神洋丸　永山辰之助
寶來丸　高橋鐵次郎
榮光丸　上遠野胖
藁谷造船所　藁谷寅之助
小野造船所　小野虎次郎
飛田造船所　飛田芳藏
田畑造船所　小野一義
亀井商店　小名濱支店
柳内造船所　柳内茂
藤社造船所　藤社恒雄